No.	3	―	21、22	―	2

地域ごとのまちづくり計画対話シート

作成日： 令和4年（2022年）10月17日

作成者： （課名） 市民協働推進課

（氏名） 酒井喜久

1　基本情報

項目	入力欄
まちづくり協議会名	宝塚市良元地区まちづくり協議会
地域ごとのまちづくり計画	【基本目標】 ４．安心・安全なまち
	【具体的な取り組み】 道路環境等 ２１ 　地域内の危険個所などについて、行政と自治会、コミュニティ、学校、PTAが合同で現地確認する。 良元らしい安心安全なまちづくり 22 　地域の危険箇所等の情報をコミュニティで共有し、提案する
取組内容の関係課	道路建設課 道路管理課 道路政策課

２　対話の状況

（１）実施概要
ア　日時：　令和４年10月 6日（木）　13：30～15:00 イ　場所：　くらんど人権文化センター　中ホール ウ　出席者：　以下のとおり ＜まちづくり協議会＞ 良元地区まちづくり協議会　● ＜関係課＞ 道路建設課 　中村課長、神山係長、上田係長、中村、横山（コンサル） 道路管理課 　阪上課長、豊田係長 道路政策課 　早瀬課長 ＜協働の取組推進担当次長＞ 中村部長 ＜市民協働推進課＞ 酒井

（２）確認できたこと
ア　冒頭、市から、本来であれば本日、「小林駅前整備計画」の現状と今後の計画等について説明を予定していたが、市の長期的な課題の一つであり、様々な課題を整理している段階で時間を要していることから、説明の機会は改めて設けたいことをお願いし、了解を得た。 イ　令和4年1月27日に実施した行政との対話（「地域の安全を守る」※コロナの関係で対面会議は中止となり、書面交換で実施）において、行政からの対策内容（案）を受けて3点の再要望が出されていたことから、今回、市の関係課との対話の機会を設けることとなった。 ウ　具体的には、①小林金物店前の変則十字路、②荒地西山線と下道、旧県道、上道の安全対策、③旧県道の道幅の狭さ等の今後の整備予定について、担当課からパワーポイント等を利用して、詳細な説明を行った。 エ　①小林金物店前の変則十字路の改良については、市から、土地所有者等に継続的に土地の提供依頼を行っているが、権利者が多数おられ、複雑な関係にあることから交渉が難航していることを報告し、そのような状況の中で、今できる方策について地域の方々に提案を求めた。 　参加者からは、子どもたちの通学路であるのに、通過交通が多く危険な状態にあることから、①道路上に「文」マークを示す。②道路の交差部分をカラー舗装して注意を促す。という要望が出された。また、用水路上にある植木鉢を撤去できないか、管理者である上下水道局に確認を求められた。 オ　②荒地西山線と下道、旧県道、上道の安全対策については、市から、荒地西山線の工事概要を説明し、特に、上道、下道に横断歩道や信号機を設置することが難しい理由を詳細に説明し、理解を求めた。 　参加者からは、上道の一方通行について意見を聞いているということだが、地元自治会は聞いていない、一部の声に左右されないでほしい。生活者の視点から考えた時、非常に通りづらい。旧県道の交差点への移動は高低差があって、高齢者は通行が困難になる。押しボタン式信号機や「ゆずる君」を設置して欲しい。横断歩道を廃止する考え方は受け入れられない等の意見が多く出された。 地域住民の利便性と安全対策について引き続き調整を図っていくこととした。 カ　荒地西山線の整備に関連して、参加者から、小林工区が供用開始になった場合、西山橋の渋滞が予想されるが対策は考えているのかとの質問があり、市から、信号処理等で渋滞が起こらないよう検討していると回答。 キ　③旧県道の道幅の狭さ等の今後の整備予定については、市から、生活道路整備条例の対象路線であり、建物の建て替え時にはセットバック等をお願いしているが、義務とはなっていないことからか必ずしも拡幅ができていないと説明。